

第6回 北区ナーシングヘルスケアネット交流会 報告

平成26年6月27日

日時：平成26年6月20日（金）19時～21時30分

場所：北とびあ 701号室

内容：1.講義「緩和ケアについて」

講師 東京北医療センター 緩和ケア認定看護師 松本 啓子

2.交流会

参加者：48人

内訳 (人)

医療機関	行政機関	福祉機関	訪問看護	その他
15	9	11	9	4

アンケート集計（回答数：23人）

Q1-1)「緩和ケアについて」の学習会について

良かった	まあまあ良かった	期待はずれだった	無回答
22	1	0	0

Q1-2)親睦会について

良かった	まあまあ良かった	期待はずれだった	無回答
10	3	0	10

Q2 会に参加してから、仕事をするうえで役立ったことは実際にありましたか？

あった	なかった	無回答
16	0	7

Q2 具体的内容

- ・地域の活動を広報する場がありました
- ・PRに対し、予想以上に反応がありPR不足を実感した。ここからつながりが始まると良いと思います
- ・多職種のスタッフにもこの視点を伝えてスキルアップに利用できそうと思いました
- ・顔見知りになったことで病院内で行われるケアカンファレンスなど、より安心して具体的なプランに立案に向けて関わられるようになりました
- ・連携がスムーズになりました
- ・やっぱり、つながりです

- ・同職種の間が見えることが何より有効と思っています
- ・他機関との連携

Q3 会に参加して意識の上で変化したことはありましたか？

- ・意識することの大切さを知りました
- ・意識を持つことの意味を考えられました。分かりやすい講演で楽しかったです。
- ・意識：時に一つのことにとこだわり過ぎず、大きな範囲に目を向けてでも、ピンポイントも気づける、そんなことをもう一度再認しました
- ・緩和ケアの考え方が変わった。日々のケアに意識の変化を活かして看護をしていこうと思いました
- ・緩和ケアが病棟だけでなく、福祉でも地域でも行われることなのだ実感しました。今日の話聞き「意識」に目を向けてみたいと思います
- ・原点に戻って明日につながる気持ちを持ってました。
- ・意識の違いを理解できた
- ・初心に戻ることができた
- ・看護師を楽しみたいと思えるようになりました
- ・皆さんの熱意がとても感じられました
- ・日々ケアできる！と意識できた
- ・患者さんに向き合う上での自分の意識のあり方を見直すことができました
- ・業務や時間に追われてしまい、患者さんの苦痛を考えていないことに気付かされました。患者さんの抱える苦痛に少しでも寄り添えるようにしていきたいです
- ・意識の向け方が理解できた
- ・明日から意識を意識して業務を行っていきたい
- ・本日の講義でできることを伸ばすことも看護だと改めて感じました
- ・タイムマネジメントを聞いてからできるだけ時間配分をして仕事するようになった

今後の学習についての要望

- ・精神疾患の対応
- ・小児看護
- ・呼吸リハビリテーション、ROM
- ・難病疾患看護

文責：松本 啓子